

TUS 東京理科大学報 Journal

特集

全日本学生 フォーミュラ大会



〔全日本学生フォーミュラ大会に参加した、東京理科大学チームと山口東京理科大学チーム〕

vol. 195

物華天宝 思考停止の片仮名語

話し言葉も書き言葉も、意味がサッと伝わるうえに、同じ意味ならなるべく短いほうがいい。その目で見ると、世にあふれる片仮名語には疑問が多い。

たとえば「スーパー・サイエンス・ハイスクール」。英語綴りを見た英米人は首をひねるはずだし、5文字の「理数重点校」なら伝達力も格段に強い。英語を片仮名にしただけの「アドミッションズオフィス入試」は「別枠入試」でよからう。

個性をアイデンティティ、実務体験をインターンシップなどと言い始めたころ

から、どんどんおかしくなった気がする。緊張感がないというか、要するに思考停止だ。「学者や評論家のいんちき度は、片仮名語を使う頻度にほぼ比例する」とある作家が喝破していた。

近ごろはあちこちの省庁も「いんちき仲間」に加わって、醜悪な片仮名語を使いたがる（「スーパー…」は、守備範囲に国語教育もある文科省の作）。見かけるたびに虫酸が走る。

舶来の文物がどっと入った幕末以降、漱石も鴎外も兆民も漢語づくりに励んだ。

化学、物理、文化…と、作品は数千に及ぶ。うち千語ほど逆輸入した中国でも、和製漢語が万事を支える。なにしろ「人民」も「共和国」も日本製だ。

明治の先達を見習うのは無理にせよ、片仮名語の乱発は品性を疑わせる。これから社会に出る若い諸君は（ついでに、若くない方々も）よく注意しよう。

メンボタミア出土の石碑に「最近の若者はだらしない」と刻んであった。人類史を貫く老人の小言にご寛恕を乞う。（理数教育研究センター 教授 渡辺 正）

Headline

- 02-03 特集
全日本学生フォーミュラ大会
- 04 グローバルサイエンスキャンパス/
オープンキャンパス
- 05 名誉教授称号授与／補職人事
- 06 Labo Scope
- 07 山口東京理科大学ニュース/
諏訪東京理科大学ニュース
- 08 ホームカミングデー2014

全日本学生フォーミュラ大会

96チームが挑む、ものづくりチャレンジ

今年で12回目となる「全日本学生フォーミュラ大会」は、学生のものづくりの総合力を育成するため、学生がレーシングカーの企画・設計・製作の水準の高さを競う大会です。今年には、東京理科大学・山口東京理科大学の2チームが参加。白熱した大会の模様をお届けします。

山口東京理科大学チーム



オートクロス

直線・ターン・スラロームなどによる約800mの複合コースを2周走行する審査。この結果によって、最終審査に進むかどうか決定します。



スキッドパッド

8の字コースによるコーナリング性能を競う種目。



アクセラレーション

直線コースで加速性能を競う種目。



出走前の最終調整を行います。



総勢25人で、おそろいのチームポロシャツをまとった山口東京理科大学チーム。

山口東京理科大学は、今年が3回目のチャレンジ。

チームを指導するのは、かつて自動車メーカー・マツダを代表するスポーツカー「ロードスター」や「RX-7」の開発を手掛け、同社の技術部門の最前線に立ち続けた貴島孝雄教授（工学部機械工学科）。2010年に山口東京理科大学の教授に就任し、自動車工学、感性工学を講義。研究室では「ものづくり工房」を開き、学生フォーミュラ活動を指導しています。「1年目は車検で苦勞して、時間切れで失格。2年目はハブの強度不足で最終種目の走行中に破断し、リタイアしました。3年目の今年にはマシンの上りも良かったので、「初の全種目完遂・完走」を目標に臨んだんですが……」

大会が開幕し、車検やプレゼンテーションなどの「静的審査」を順調にクリアして無事に走り切りましたが、午後の「オートクロス」（直線・ターン・スラロームの複合コースでのタイムを競う種目）でタイムが思うように伸びませんでした。その結果、「最も速いチームの記録から133%以内のタイムを残していないと4日目、5日目のエンデュランス（約22kmを走行し、走行性能、耐久性、燃費、電力消費効率を競う種目）に出走できない」との大会規定により、3日目今年で今年のを終えました。チームリーダーでドライバーも務めた石本和聖（かずきよ）さん（工学部機械工

科4年）は、こう振り返ります。「最初は、25人という過去最高の大所帯を自分がまとめているのか、とても不安でした。1年間という長い期間、メンバーのモチベーションを高く保つことにも苦労しました。でも毎朝、研究室のドアを開けるたびにマシンが少しずつ組み上がっていく様子を見ていると、疲れや不安は吹き飛びましたね。エンデュランスを走れなかったことは残念ですが、回を重ねるごとにチームもマシンも進化していることは実感できます。この経験を後輩たちに伝え、さらなる進化を目指してほしいですね」



貴島孝雄教授

石本和聖さん

教室の中ではエンジニアは育たない。現場での経験こそが大切なんです

みんなが徹夜を重ねて作ってくれたマシンをレースで走らせる緊張感。しびれました！

【マシン名】アサギマダラ3号 総合61位



【マシンのポイント】

1 リアスタビライザー

カーブを曲がる時などにクルマが左右に傾くのを抑えるパーツ。今年のマシンで初めて導入。

2 「人馬一体」の操縦性

初出場のときから一貫して掲げているマシンコンセプト。ドライバーの意のままに操縦することができるクルマを目指す。

3 車両重量の軽量化

新たに追加した部品があるため、トータルでは1kg減だが、フレーム単体でいえば3.2kgの大規模な軽量化に成功。

- 【スペック】
- 全長 / 2700mm
 - 全高 / 1018mm
 - 車両重量 / 265kg
 - エンジン形式 / PC40 HONDA CBR600RR
 - 排気量 / 600cc

9月2日～6日の5日間にわたり、「第12回 全日本学生フォーミュラ大会」（主催：公益社団法人自動車技術会）が静岡県のエコパ（小笠山総合運動公園）で開催され、東京理科大学と山口東京理科大学が出場しました。「学生が自ら構想・設計・製作した車両により、ものづくりの総合力を競い、自動車技術ならびに産業の発展・振興に資する人材を育成する」という趣旨のこの大会。参加するためには、設計から部品の調達、組み立てまですべて学生が行わなければならない、製作の際に

は安全性やデザイン、コストなどについてのレポートを提出し、その書類選考に通過しなければ本大会には出場できません。今大会には、全96チームが参加。出場チームの内訳は日本国内が75チーム、海外21チーム（タイ、インド、インドネシア、中国、台湾、イラン、ベトナム、ドイツ、マレーシア）。本大会では最初に車検が行われ、通過して初めて、静的審査と動的審査に進むことができます。静的審査では、コストに見合った車になっているか、設計の適切さや革新性などのデザイン審査、さらに製造

販売のためのプレゼンテーション審査を実施。動的審査では、加速・コーナリング性能に加え、コースを周回してハンドリング性能や耐久性、燃費などの各課題でポイントを争いました。大会は、総合1位が名古屋大学、2位京都大学、3位同志社大学という結果で幕を閉じました。東京理科大学は15位、山口東京理科大学は61位と、いずれも前回大会より順位を下げましたが、1年間の長い戦いを終えたメンバーたちの表情は、充実感に満ちあふれていました。

東京理科大学チーム



最終種目のエンデュランスを待つ前に、強い雨が、調整しながら待機します。



コースを走り終えてほっとした表情の木村さんをねぎらう仲間たち。



エンデュランス



競技後は、ピットに戻って大会を振り返る反省会。思わぬ告白に一同盛り上がりです。



競技後は、ピットに戻って大会を振り返る反省会。思わぬ告白に一同盛り上がりです。



エンデュランスは、直線・ターン・スラロームなどのある周回コースを約20km走行する種目。コースがまだ雨で濡れている中、水しぼきの上は毎分2000ccのドラバが交代して走行しました。

1年をかけて、チーム最高順位を目指す5日間の戦い

東京理科大学「TUS Formula Racing」は2004年に発足し、今年で大会参戦10回目を迎えました。過去に何度も悔しい思いを味わってきたチームですが、2010年の50位から11年に29位とジャンプアップして以来、12年は17位、そして昨年は9位と、着実に成長を遂げてきました。今年のメンバーたちは、昨年の総合順位を示すカーナンバー「9」を超える成績を目指し、大会に臨みました。チームリーダーの川合剛史さん（理工学部機械工学科3年）は、今年のチームコンセプトについて「昨年は、設計やパーツ選択などあらゆる面で新しいことにチャレンジしてきました。今季は、昨年伸ばしき

れなかった所を向上させるというコンセプトでマシン作りを行いました」と語ります。大会直前までマシンの調整に苦慮しながら迎えた本大会。静的審査では「プレゼンテーション」で6位に入るなど健闘し、最終種目のエンデュランスでも2人のドライバーが快走を見せましたが、総合順位は15位という結果に終わりました。ドライバーの木村都仁さん（理工学部経営工学科3年）は、「エンデュランスでは納得のいく走りがありました。ただ、エンデュランスの出走順を決める前日のオートクロスではクルマのセッティングが思うように決まらず、いい走りができなかった。テスト走行のときは昨年より2秒以上早いタイ

ムを出せていたんですが……セッティングさえ合えば、もっと上位に食い込めたと思うと悔しいですね」と、悔しさをにじませました。大会を振り返って、川合さんは今年大会の成績を「40点ぐらい」と厳しく評価しました。「チームマネジメントの大切さと難しさを痛感した1年でした」来年に向けて、木村さんが決意を語りました。「先輩が後輩を育成していく体制を、チームの中に確立したいんです。これまで3年生は大会を終えると引退するのが慣例でしたが、僕はもう1年チャレンジしたいと思っています」チーム最高順位を目指す新たな戦いは、もう始まっています。



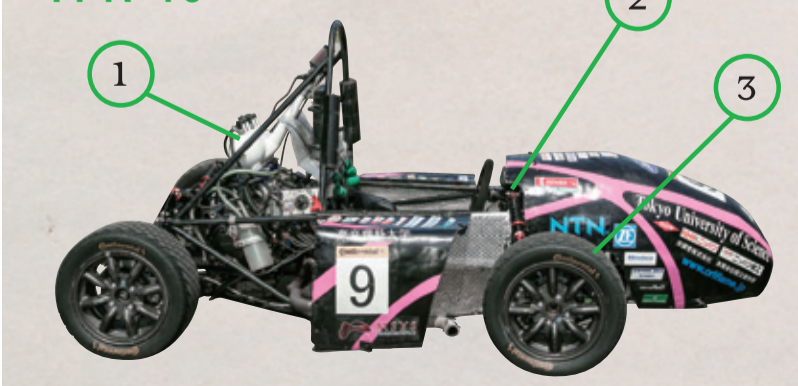
チームリーダー 川合剛史さん

ドライバー 木村都仁さん

クルマ作りで最も大切なチームマネジメント、その難しさを痛感しました！

クルマのセッティングが決まらず残念。でも最後は納得の走りがありました！

【マシン名】TFR-10 総合15位



【マシンのポイント】

1 サージタンク

エンジン吸気系のパーツ。昨年のカーボンファイバー製から、ABS樹脂を3Dプリンタで成型しているため、タイヤ性能を最大限に引き出すマシン設計が可能になった。

2 ダンパー

ドイツのオートバイメーカーの名門、ザックス社製の全日本学生フォーミュラ専用ダンパー利用。スプリング込みで460gと軽量で、運動エネルギー減衰性能も高い。

3 タイヤ

今年から新たにコンチネンタル社製のタイヤを採用。メーカーが詳細な製品データを公開しているため、タイヤ性能を最大限に引き出すマシン設計が可能になった。

- 【スペック】
- 全長 / 2820mm
 - 全高 / 1260mm
 - 車両重量 / 225kg
 - エンジン形式 / PC40E HONDA CBR600RR
 - 排気量 / 599cc

グローバルサイエンスキャンパスで未来の科学者を育成!



山本 誠 副学長

本学では、今年10月から、「グローバルサイエンスキャンパス(※)」を開講しています。

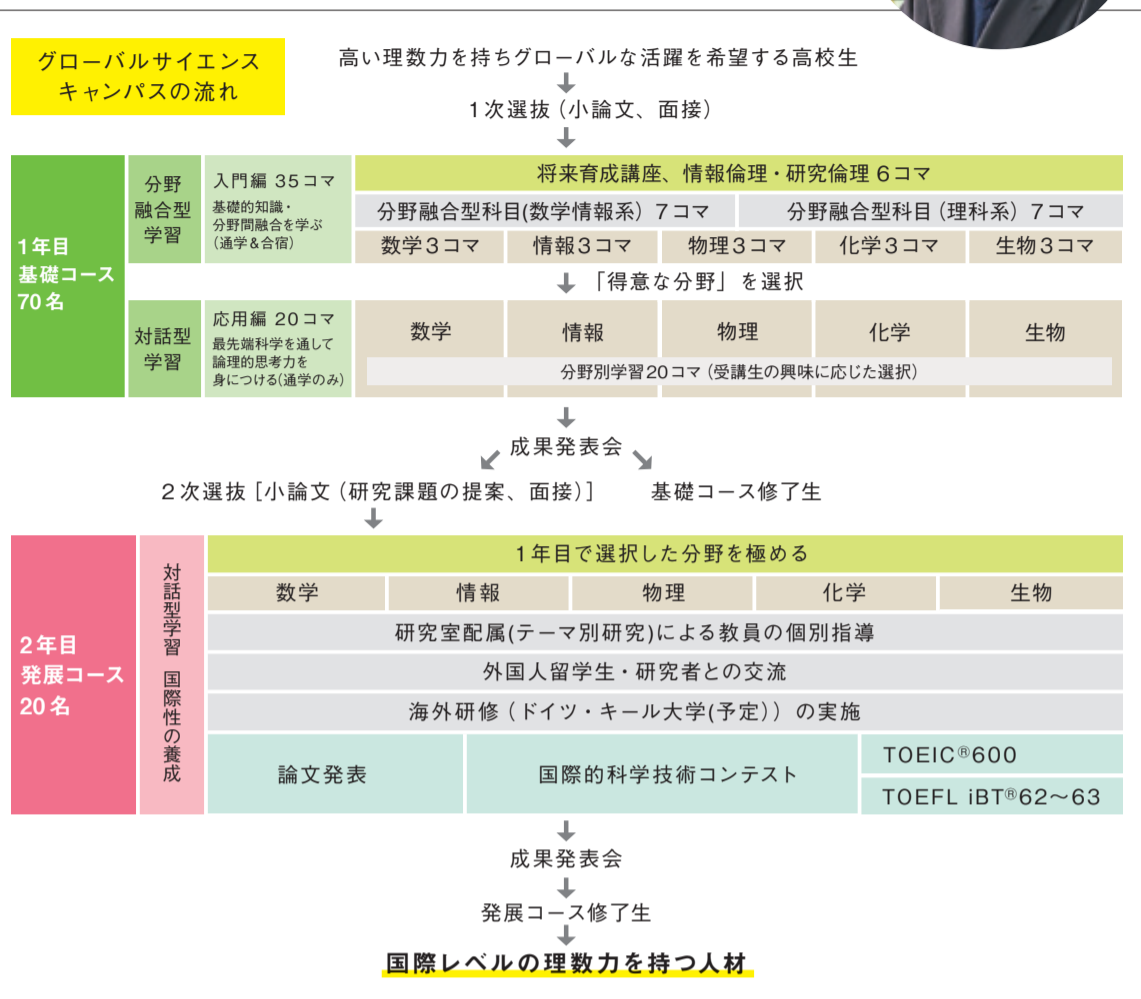
グローバルサイエンスキャンパスとは、将来グローバルに活躍しうる傑出した科学技術人材を育成することを目的として、卓越した意欲・能力を有する高校生を募集・選抜し、国際的な活動を含む高度で体系的な理数教育プログラムを行うものです。

開講にあたり、本講座の責任者である山本誠副学長に、このプログラムの特長について聞きました。

「グローバルサイエンスキャンパスでは、数学、情報、物理、化学、生物の5分野において第一線で活躍する現役教授や大学院生が高校生を対象に、高度で実践的な教育プログラムを行います。実際に自分の手でモノをつくり、実物にふれるなどの体験型教育を通じて、高校生の意欲、能力をさらに伸ばしていくことを主眼としています。8月に行われたオープンキャンパスで個別説明会を行ったのですが、多くの高校生が興味を持ってくれました。中には「高校の授業ではもの足りない。ぜひ参加したい」という意欲的な生徒もいて、たいへん頼もしく感じました」

講座は「基礎コース」と「発展コース」からなり、それぞれ1年間。基礎コースは、「入門編」と「応用編」の2つからなります(平成26年度は入門編のみ実施)。入門編では分野相互の関係性に重点を置き、高等学校の教育で不足している論理的思考力、課題発見力の養成に重点を置いた「分野融合型学習」を行い、各専門分野が深く関わりながら進化していることを理解してほしいと思います。

応用編では、5分野から得意分野を選択し、グループメンバー間、受講生と教員・TAがディスカッションを行いながら学習を深める「対話型学習」を行うことで、論理的思考力、継続的な研究姿勢を身に付けてほしい



基礎コースで得た知識を、研究レベルに高めたいと希望する受講生には、個別指導のコースとして「発展コース」を用意しています。受講生は基礎コースで学んだ5分野の中から得意な分野を選択し、本学教員の研究室に所属して個別の研究指導を受け、その分野を極めます。外国人留学生・研究者との交流や海外研修(ド

イツ・キール大学)も実施する予定で、最終的には国内外の学会での発表や論文投稿を目指します。「最先端の自然科学の世界は、高校の授業では味わえない驚きや感動に満ちています。『自分は理数系に興味がある』という高校生の皆さんに、ぜひチャレンジしてほしいですね」

※本事業は独立行政法人科学技術振興機構(JST)の委託事業

オープンキャンパス開催 3キャンパスに約1万3,000人が来場

オープンキャンパスが8月7日(木) 野田キャンパス、8日(金) 神楽坂キャンパス、9日(土) 葛飾キャンパスで開催されました。当日は学科説明会や模擬講義、大学説明会が開催されたほか、各キャンパスとも多くの研究室が開放され、模擬実験や研究室見学ツアーが行われました。野田キャンパスでは3,604人、神楽坂キャンパスでは4,750人、葛飾キャンパスでは4,240人の来場があり、3キャンパスで合計12,594人の高校生や保護者が足を運んでくれました。

野田キャンパスでは、広大で緑豊かな敷地をオープンキャンパス特別巡回バスが走り、車内ではバスガイ

ドによる構内案内が行われました。また薬剤師体験として、模擬薬局で薬剤師の仕事のデモンストレーションを行い、来場者に薬学部ならではの実習の様子を公開しました。

神楽坂キャンパスでは、本学女性教員・学生による女子学生向けイベントが開始前から列を成すほど盛況で、本学学生との話に花を咲かせる高校生が多数見られました。また、休憩所で行われた学生団体によるジャズやギターの演奏にも多くの人が集まりました。

葛飾キャンパスでは、藤嶋昭学長による講演や、各業界で活躍する卒業生によるトークセッションなどが行



葛飾



神楽坂



野田

名誉教授称号授与

東京理科大学は、長年にわたり本学の教育・研究の発展に尽力し、多くの功績を挙げた7人に名誉教授の称号を授与しました。

【平成26年6月12日】

佐野 雅敏 (さの・まさとし)

昭和51年に工学部第一部電気工学科講師として着任し、平成2年に教授となり、学科学主任、教務幹事、就職幹事、専攻幹事等を歴任しました。専門分野はワイドギャップ半導体、高周波電磁界解析、光通信システム解析等の研究で優れた成果を挙げるとともに、応用物理学会の理事・評議員等をはじめとした要職を歴任し、応用物理学フェローの表彰を受けています。



村松 容一 (むらまつ・よういち)

平成6年に理工学部教養の講師として着任し、平成13年に教授となり、科学教育研究科長、教養主任、教務幹事、就職幹事などを歴任しました。専門分野は地球環境化学で、地熱や温泉資源の成因と探査、河川水や地下水の水質汚染機構に関する研究などは高く評価され、日本鉱山地質学会学会賞、日本地熱学会と日本土壌肥料科学雑誌の各論文賞を受賞しています。



大矢 雅則 (おおや・まさのり)

昭和52年4月に理工学部情報科学科の助手として赴任し、昭和63年4月に教授となり、理工学部長、理工学研究所長、学科学主任、教職支援センター長、情報科学教育・研究機構長を歴任しました。専門分野は量子エントロピー、量子情報理論に関する研究などは高く評価され、日本鉱山地質学会学会賞、日本地熱学会と日本土壌肥料科学雑誌の各論文賞を受賞しています。



初見 学 (はつみ・まなぶ)

昭和56年に理工学部建築学科学科講師として着任し、平成9年に教授となり、学科学主任、教務幹事、就職幹事、研究科幹事等を歴任しました。専門分野は建築計画学における住環境計画と環境心理で、世界各地の民家や集落の構成原理の解明、集合住宅の計画では二公室型住宅やリビングアクセスなど数々の開発や提案をされました。また、設計教育にも熱心に取り組み、多くの著名建築家を輩出しました。



越地 耕二 (こしち・こうじ)

昭和54年に理工学部電気工学科助手として着任し、平成9年に教授となり、野田地区学生部長、野田地区図書館長、インテリジェントシステム研究部門長等を歴任しました。専門分野は電磁波の工業や医療への応用に関するもので、日本人工業学会論文賞、エレクトロニクス学会論文賞等を受賞し、各学会においても理事や会長を歴任するなど、その学術活動は高い評価を得ています。



内山 久雄 (うちやま・ひさお)

昭和54年に理工学部土木工学科講師として着任し、平成8年に教授となり、学科学主任、学科学主任、研究科幹事等を歴任しました。専門分野は国土計画学・地域計画学・交通計画学で、道路騒音など環境影響評価、洗滌解析等の交通流解析とシミュレーション、首都圏や都市間における交通機関選択モデルや経路選択モデルの開発、歩行者交通のデータ取得と挙動解析などの研究で活躍しました。



東邦 仁虎 (ひがしくに・ひととら)

平成5年経営学部開設時に経営学部教授となり、その間、経営学部長、経営学研究科長、久喜図書館長、就職幹事等を歴任しました。社会や政府、産業界に対する活動においては、経営戦略、モバイル・ビジネス等をテーマとした多くの講演を行い、モバイル・コンテンツ・フォーラム座長、モバイル・プロジェクト・アワード審査委員長を務めるなど、多大な社会的貢献をしています。



補職人事

平成26年10月1日付で補職等の異動が発令されました。10月1日現在の主な補職は次のとおりです。

■学部長	
理学部第一部	矢部 博(任期中)
理学部第二部	目黒 多加志(任期中)
薬学部	深井 文雄(新任)
工学部第一部	河合 武司(新任)
工学部第二部	河野 守(新任)
理工学部	北村 春幸(新任)
基礎工学部	藤代 博記(任期中)
経営学部	能上 慎也(新任)
■研究科長	
理学研究科	矢部 博(任期中)
総合化学研究科	柴山 光一(任期中)
科学教育研究科	小川 正賢(任期中)
薬学研究科	深井 文雄(新任)
工学研究科	浜本 隆之(新任)
理工学研究科	井手本 康(新任)
基礎工学研究科	藤代 博記(任期中)
経営学研究科	能上 慎也(新任)
生命科学研究科	安部 良(任期中)
イノベーション研究科	坂本 正典(新任)
国際火災科学研究所	辻本 誠(任期中)
■その他の補職等	
長万部教養部長	模本 一之(任期中) 基工・教授
図書館長	渡辺 一之(任期中) 理一・教授
学生支援機構長	菊池 正紀(任期中) 理工・教授
総合教育機構長	山本 誠(再任) 副学長
研究戦略・産学連携センター長	森口 泰孝(再任) 副学長
総合研究機構長	福山 秀敏(任期中) 総研・教授
生命科学研究所長	安部 良(任期中) 生命・教授
国際化推進センター長	半谷 精一郎(新任) 工一・教授

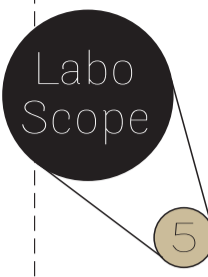
悼

牧野 都治 本学名誉教授・元教授(経営学部経営学学科) 平成26年4月28日逝去されました。88歳。
池田 敏一 元教授(理工学部電気電子情報工学科) 平成26年5月8日逝去されました。72歳。
川上 洋一 元教授(諏訪東京理科大学共通教育センター) 平成26年8月13日逝去されました。76歳。

維持拡充資金(第二期) 寄付者芳名

「維持拡充資金(第二期)」にご賛同いただき、ご寄付をたまわった方々のご芳名を掲載します。今回は、2014年5月1日～2014年7月31日までにご入金いただいた分です。ご芳名は区分別・金額別・五十音順ですが、区分で重複する方はいずれか一つに掲載させていただきます。累計は維持拡充資金(第二期)の寄付額です。

【個人】	河野 昭典 様 名 1名 (累計金250,000円)	西山 穂様 橋本 達男 様 長尾 弘 様 馬場 昭夫 様 平川 芳孝 様 (累計金50,000円)	◇金5,000円 柳本 新治 様 中川 信二 様 中延 昭二 様 岡村 純一郎 様 (累計金15,000円)	◇金250,000円 河村 洋 様 (累計金2450,000円)	◇金4,000円 佐伯 政俊 様 (累計金35,000円)
◇金30,000円 多田 孝次 様 (累計金280,000円)	◇金20,000円 小日向 隆 様 近藤 英世 様 (累計金60,000円)	◇金22,000円 井口 隆子 様 石神 一郎 様 加治 進子 様 (累計金100,000円)	◇金10,000円 佐藤 弘幸 様 (累計金40,000円)	◇金200,000円 森野 義男 様 (累計金82,000,000円)	◇金1,000円 原 泰志 様 (累計金250,000円)
◇金2,000,000円 小林 泰子 様 (累計金150,000円)	◇金100,000円 小川 裕幸 様 (累計金90,000円)	◇金200,000円 伊藤 正雄 様 (累計金1,050,000円)	◇金20,000円 辻 幹男 様 (累計金40,000円)	◇金500,000円 鈴木 弘昭 様 (累計金710,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金100,000円 関口 宏之 様 (累計金600,000円)	◇金200,000円 高村 泰雄 様 (累計金150,000円)	◇金82,000,000円 伊藤 正雄 様 (累計金1,050,000円)	◇金30,000円 宮宅 勇二 様 (累計金70,000円)	◇金120,000円 泉 良男 様 (累計金30,000円)	◇金1,000円 毛利 日向子 様 (累計金300,000円)
◇金700,000円 岡本 公嗣 様 (累計金2,100,000円)	◇金200,000円 田畑 信行 様 中島 文雄 様 (累計金200,000円)	◇金2,000,000円 伊藤 克秀 様 稲葉 涼哉 様 岩波 康史 様 (累計金60,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金120,000円 亀田 博 様 (累計金13,600円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金1,300,000円 小野 眞彦 様 (累計金375,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金125,000円 深沢 郊子 様 (累計金110,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)	◇金1,000円 白根 彦太郎 様 鈴木 克巳 様 (累計金20,000円)	◇金10,000円 加藤 良 様 倉本 学 様 (累計金25,000円)
◇金200,000円 今村 肇 様 小林 昭一郎 様 (累計金260,000円)	◇金100,000円 石川 万寿雄 様 (累計金370,000円)	◇金110,000円 吉澤 啓 様 渡邊 恒男 様 並木 榮一 様 (累計金40,000円)	◇金30,000円 相田 良成 様 (累計金80,000円)		



「植物のデジタル化」を実現して 食料、エネルギー、環境問題を解決

本学のさまざまな研究の最前線を紹介する「Labo Scope」。今回は、「植物のデジタル化」を通してそのメカニズムを解明する研究をご紹介します。

植物は、私たちの食料となるだけでなく、化石燃料に代わる新たなエネルギー資源としても注目されています。さらに植物には二酸化炭素を吸収する効果もあることから、地球温暖化の抑制効果も期待できます。今後の食料、エネルギー、環境問題の重要性・緊急性を考えると、植物が持つ可能性を広げることは「全地球的課題」と言っても過言ではありません。

そんな「植物機能の活用」につながる研究が、本学で行われています。理工学部応用生物科学科・松永幸大教授の研究室です。松永教授に、研究の内容について聞きました。

「今、地球温暖化や砂漠化の進行、冷害や

塩害などの影響による農業生産被害が深刻化しています。しかし本来、植物はこうした環境ストレスに対する適応力や耐性を備えています。植物は自由に移動することができないため、適応する力を持っているんですね。こうした適応能力がどんなメカニズムによって生まれるのかが解明できれば、砂漠や寒冷地、塩害に悩む土地でも良質な農作物を栽培することができる。そのため

の研究を行っています」さらに松永教授は、研究を行うために必要な技術開発にも意欲的に取り組んでいます。生きた状態のまま、特定の細胞や組織に蛍光色の目印を付け、リアルタイムで観察できる「蛍光ライブセルイメージング技術」や、実験・観察によって得られた多種多様な画像を高速度かつ高精度で自動分類できる学習型ソフトウェア「カルタ」を開発しました。

「私の究極の目標は“植物のデジタル化”です。コンピューター上に“仮想地球”を作り出し、地球規模の気候変動や地層・地殻変動メカニズムなどをシミュレーションで解明する『地球シミュレータ』は有名ですが、その植物版を実現したい。私は、独創的な研究を行うこと、その研究を前に

進めるための独創的な技術開発は不可欠な関係にあると考えています。イメージング技術や画像分析ソフトなど研究ツールの開発は、そんな思いから行っているんです」

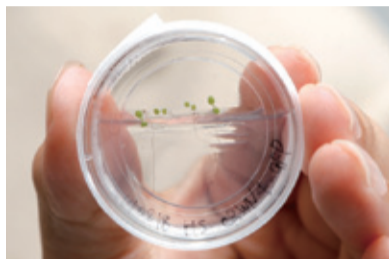
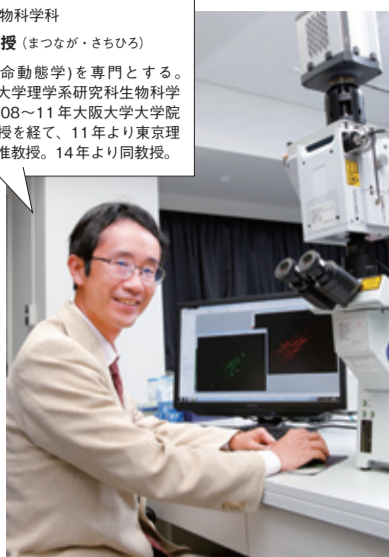
では、松永教授が目指す“植物シミュレータ”の実現は、どんな未来をもたらすのでしょうか？

「今まで、農作物の品種改良は主に交配によって行われてきました。親を交配してから、何回も繰り返して種を取り、適切な品種になっているかを圃場で確認する大変な作業です。改良した品種が市場に出るまでには10年単位の時間が必要になることも珍しくありません。...これに対して、植物の発生・成長メカニズムをデジタル化することができれば、「成長のこのタイミングで水や肥料を与えると、こんな性質をもった作物ができるだろう」という仮説を、高い精度でシミュレーションすることが可能となる。その結果、品種改良に要する時間を飛躍的に短縮することが可能になるんです」

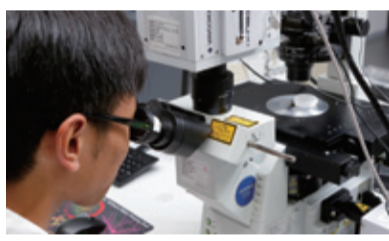
植物自身が持つ力をさらに高めることによって、食料、エネルギー、環境問題を解決する……そんな夢のような話が現実になる日は、遠くないのかも知れません。

理工学部応用生物科学科 松永幸大 教授 (まつなが さちひろ)

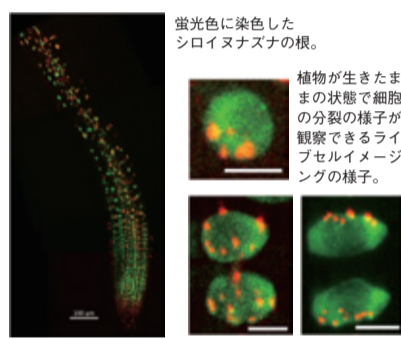
細胞生物学(生命動植物学)を専門とする。1998年、東京大学理学系研究科生物科学博士課程修了。08~11年大阪大学大学院工学研究科准教授を経て、11年より東京理科大学理工学部准教授、14年より同教授。



生きたまま電子顕微鏡で観察するために寒天の中で育てられたシロイヌナズナ。



イメージング解析のため、松永教授が独自で開発した電子顕微鏡。



蛍光色に染色したシロイヌナズナの根。

植物が生きたままの状態でも細胞の分裂の様子を観察できるライブセルイメージングの様子。

諏訪理科大で「真夏のマドンナ」を開催!

「科学のマドンナ」プロジェクトの一環である「真夏のマドンナ」が、8月6日(水)から8日(金)の2泊3日の日程で、諏訪東京理科大学で開催され、全国から約50人の女子高生が参加しました。当日は諏訪理科大の河村洋学長の講演、模擬授業やナイロンを合成する実験のほか、霧ヶ峰高原自然散策といった諏訪ならではのレクリエーションも行われました。また今回のイベントでは、理系女子学生団体「リ

ケチェン!」が全面協力。グループワークやイベントを行い、女子高生に理系の楽しさを伝えました。



霧ヶ峰高原自然散策の様子

「サイエンスフェスタin福岡」を開催!

8月23日(土)に福岡国際ホール(福岡市中央区)で、東京理科大学と立命館大学のコラボレーションによる「第6回サイエンスフェスタin福岡【子どもの好奇心を体感に変える!】」が開催されました。本イベントは小・中学生とその保護者を対象に、体験を通して科学の面白さを実感してもらう毎年恒例の夏休みイベント。

当日は818人の参加があり、本学からは3研究室と近代科学資料館が出演しました。100円ショップ

で購入できるもので工作をする「100円ショップで自由研究!」や、距離や飛行時間などを競う「紙飛行機で勝ち勝負!」なども行われ、多くの子どもたちの歓声で盛り上がりました。

プロコリナーからDNAを取り出して観察の様子



鳥人間コンテスト2014に本学学生団体が出場 人カプロペラ機タイムトライアル部門で3位

7月26日(土)、27日(日)に滋賀県の琵琶湖で行われた鳥人間コンテスト2014に本学学生団体の鳥科(滑空機部門)、Aircraft Makers(人カプロペラ機タイムトライアル部門)が出場し、Aircraft Makersが3位と好成績を修めました。

鳥科は入賞を逃しましたが、両チームとも今回の経験を生かし、来年度以降のさらなる記録更新が期待されます。



Aircraft Makers

鳥科

本学のクラブ活動を紹介します!

TUS CLUB journal

第4回 剣道部

江村紀文さん
理工・建築 4年

幅広い年代の方と関われるのが 剣道の魅力!

菅野孝俊さん
実学・薬学 2年

剣道部の部員数は約40人。平日は、神楽坂キャンパス、野田キャンパス、葛飾キャンパスでそれぞれ練習し、定期的に合同の練習を行っている。創部は1962年。そのため、多くのOB/OGがいて、合宿などの際は稽古に駆け付けてくれる。

関東学生剣道連盟に所属している剣道部は、毎年、春に行われる関東学生選手権大会(個人戦)と秋に行われる関東学生優勝大会(団体戦)に出場している。男子は日本武道館、女子は東京武道館で行われ、上位の成績を挙げると学生の全日本大会に出場することができる。

「10年以上、全日本大会から遠ざかっていたため、今度の関東学生優勝大会では上位に食い込めるよう、日々精進しています(江村さん)」

2人とも中学校時代から続けているという剣道だが、大学での剣道は今までと少し違うという。

「高校までの剣道は、つらい練習をやらされていた感じでした。大学の練習もつらいですが、『どうしたら強くなれるか』自分たちで考えて練習できています。大変なこともありますが、とても充実していますね(菅野さん)」

2人にとっての剣道の魅力とは。

「剣道は、小学生から年配の方まで、幅広い年代の方と関われることですね。今でも昔所属していた道場で小学生たちと剣道をすることもありです(江村さん)。一生付き合えるスポーツということが魅力ですね。地域の大会も盛んに行われているので、私自身、社会人になっても続けたいと考えています(菅野さん)」

野田キャンパスでの練習の様子

山口東京理科大学ニュース

「地域における大学のあり方を考えるシンポジウム」を開催

6月26日(木)、本学地域連携センター主催のシンポジウム「地域における大学のあり方を考える」～地域産業界のキーパーソンを育成する～が開催され、学内外から150人が聴講。参加者はパネリストの多角的な視点からの意見や提言に、熱心に耳を傾けていました。

当日は、塚本祖世学長、本学卒業生で小野田青年会議所前理事長の吉田祐司氏、同じく卒業生で宇部青年会議所理事長の蔵田晃一氏をパネリストに迎え、宇部日報社代表取締役社長の脇和也氏がコーディネーターを務めました。

塚本学長は「地元を愛する若者が、地域の大学で学び、地域の企業に就職し、地域社会の中心人物へと成長する流れができれば、地域も活性化し、若者の定住も促進される」と本学の掲げる地域産業界のキーパーソン育成の重要性を力説。その一方で、「行政は大学生が住みやすい街、将来定住したいと思わせる施策が

必要ではないか」「地元企業には地元の学生を積極的に採用してほしい」と述べ、産学公が三位一体となって課題を解決することが必要であると感じました。

吉田氏は、会社経営者の立場から「地方の小さな会社ではオールマイティな能力が求められる。例えば、文系が主流である営業職も理系の知識があれば、顧客の技術的な要望に即してその場で応対もできる」と理系の知識に裏付けられた営業職の強みを紹介。また、社会のこのことを知る勉強も大切だと指摘し、「大学は学生に対して外部に目を向ける機会をつくらしてほしい」と期待感を示しました。

蔵田氏は、理系の大学の研究シーズに着目し、企業との連携強化を推奨。「大学が企業との共同開発を提案し、学生が参画するカリキュラムを構築できれば、大学としての価値が高まる。企業との太いパイプを築くことができ、企業誘致の促進にもつながるのではないかと提

言しました。最後に、先輩からのメッセージとして、聴講者の在学生に対し、吉田氏は「大学は社会に出るための重要な期間です。ボランティアなど、勉強以外にもさまざまなことにチャレンジしてほしい」と激励。蔵田氏は「自分たちの暮らす街に誇りを持って皆さんたちで良くしてほしい。相手を思いやり、誰かのために役立つという心を忘れず、切磋琢磨してほしい」と熱く語りました。

同窓、教職員、地域の皆さまに、ご家族と一緒にご参加いただき、親睦、交流を深めていただきたいと思います。秋山仁先生による記念講演のほか、桂歌助さんの演芸会を催し、多くの方々に楽しんでいただける内容となっています。また、同時開催の学園祭(竜王祭)にもご参加ください。



ホームカミングデー2014 開催のお知らせ

今年創立20周年を迎える山口東京理科大学のホームカミングデーを11月16日(日)に開催します。

同窓、教職員、地域の皆さまに、ご家族と一緒にご参加いただき、親睦、交流を深めていただきたいと思います。秋山仁先生による記念講演のほか、桂歌助さんの演芸会を催し、多くの方々に楽しんでいただける内容となっています。また、同時開催の学園祭(竜王祭)にもご参加ください。

開催日:平成26年11月16日(日) 10:30~15:30
内容:秋山仁先生記念講演会、桂歌助演芸会、懇親会、祥子さんライブ、秋山先生のアコーディオン演奏、研究室での同窓会 ほか
会場:本学5201教室、体育館、各研究室

第5回山陽小野田市かがく博覧会に3,800人が来場

9月27日(土)、28日(日)の2日間、第5回山陽小野田市「かがく博覧会」が、おのだ小公園で開催され、市内外から親子連れの小中学生を中心に3,800人の来場者があり、大いににぎわいました。

この博覧会は、本学と山陽小野田市が共同で開催しているもので、市内の小学校、中学校、高等学校、大学、企業一堂に会し、各学校や企業から科学の作品や実験ブースなどを出展。子どもから大人まで、科学を学ぶ楽しさや驚き、感動を体感できる催しが多数用意され

ました。白井博文市長、森田廣学部長によるあいさつの後、テープカットが行われ、来場者が次々と入場。今年は両日とも本学が参加し、9つの体験ブースを出展。子どもたちは、お目当てのブースで、夢中になって実験や工作に挑戦したり、ロボットを動かしたりして、場内には終始、歓声や笑い声が響き渡りました。1階の屋外広場では、学生フォーミュラチームが製作した小型レーシングカーを展示したほか、実際に試走も行い、集まった観客は、学生

ドライバーの巧みな運転テクニックを食い入るように見つめていました。また、今年初の試みとして、山陽小野田市内の小中学校で実施している出前実験授業「ほんものの科学体験講座」を数回に分けて、ライブ授業を行い、多くの子どもたちが参加しました。「低温の世界を体験してみよう!」をテーマに、植物の葉、バナナ、スーパーボール、炭酸飲料水の入ったペットボトルなどを液体窒素の中に入れて、どのように変化するのか、みんな興味津々で実験に取り組み、大盛況でした。

本学ではこれからも地域に貢献する大学として、山陽小野田市と連携しながら、さまざまな事業を通じて子どもたちの科学に対する興味や関心を喚起するよう努めていきます。



諏訪東京理科大学ニュース

実り多かった第1回目の海外ビジネス研修(短期)

グローバル社会がますます進展する中、本学においてもグローバル人材育成は教育の重要な視点との認識に立ち、今年度から経営情報学部では「海外ビジネス研修」を正規科目として導入しました。本科目は、10日前後で複数の企業を訪問し研修する短期コースと、3カ月間OJTを中心に企業で研修する長期コースがあり

ます。日本企業が海外展開している意味を理解し、これを機に地方に本拠地があっても社会で活躍する場は世界にあるという認識を持たせる目的

で、今年度は8月27日(水)~9月3日(水)に、台湾2社、中国1社、香港1社を巡る短期コースを開催しました。これには、男女2人ずつ4人の学生が参加し2人の教員が引率しました。4人中3人は初めての海外ということもあり、成田空港を発するときは不安でいっぱいの様子でしたが、研修が進むにつれ学生だけで地下鉄に乗り研修先に向かうなど自信を付け、将来は海外で活躍したいという意識が向上し実り多い研修となりました。



受け入れ先の八十二銀行での記念撮影



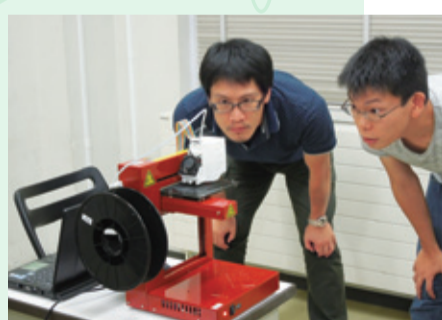
企業で講習を受ける参加者

アイデアを形にする3Dプリンタ活用講座を開講

本学メディアラボに設置されている3Dプリンタの活用講座を一般に向けて開講しました。講座は8月30日(土)、9月6日(土)の全2回行い、参加者は本学学生、教員、一般合わせて20人を超えました。3Dプリンタの魅力は、機械工作に関する専門的な技術を身に付けなくても立体物が作れることにあります。誰もが自らのアイデアを形にできることを目的として、第1回目の講座では、まず3D CADの基本的な使い方を2時間ほど学び、その後、1個あたり10分程度で3Dプリンタの出力が完了する名札を各自で製作しました。3Dプリンタの出力の作業は、工学部の市川研究室の学生らがサポートし、約2時間掛けて参加者全員が各自の作品を手に入れました。2回目の講座では、各自が作りたいものを考えてくることを宿題とし、講義はCADの使い方の個別相談を基本に、データ作成の実習を行いました。



3D CADの講習の様子



自作の名札ができる様子を観察する参加者

茅野市の土偶「仮面の女神」が国宝指定! 茅野市縄文ふるさと応援団員に本学が登録

大学のある茅野市では、縄文時代の土偶「仮面の女神」が8月21日(木)に国宝に指定されました。茅野市は国宝が2つある町として、地域の活性化のため「縄文プロジェクト」によって縄文時代を意識した町づくりを進めています。

地域貢献を基本理念とする本学は、教職員・学生が地域課題解決に取り組んでおり、今回の国宝指定を機に、茅野市が募集する「茅野市縄文ふるさと応援団」に大学として登録し、茅野市の縄文プロジェクト推進をさらに応援することとしました。最初の応援団活動として、大学構内20カ所に縄文・応援団フラッグを設置し、来校者や学生・教職員に「縄文のまち

茅野市」をアピールしています。

大学では、本学の教員が「茅野市縄文ふるさと大使」や「縄文プロジェクト推進市民会議委員」として活動しているほか、尖石縄文まつりに学生・教職員が参加していましたが、新たに「茅野市縄文のまちづくり応援プロジェクト」のもと、ビジネスラボ、エネルギーラボ、メディアラボ、EVラボの活動や、地域課題解決へのPBL教育、学生の課外活動など、学生・教職員のさまざまな教育研究活動を通じて地域活性化に貢献し、茅野市や「縄文プロジェクト」、大学の地域課題解決の取り組みについて積極的に情報発信します。

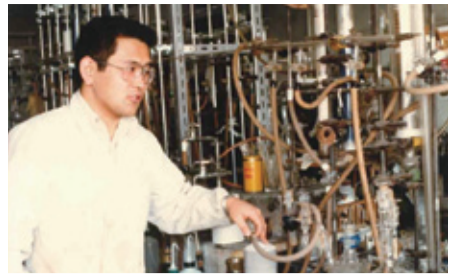




シェア80%超のアルギン酸メーカーを牽引

笠原文善さん (株式会社キミカ 代表取締役社長)

答えが見えていなくても、決して匙を投げない。
必死に取り組んでいれば、何かが見えてくる。



卒業研究 (外部卒研生として東大工学部で)



笠原文善 (かさはら・ふみよし)

1956年千葉県生まれ。79年東京理科大学工学部第一部工業化学科卒業。早稲田大学大学院を修了後、持田製薬株式会社に入社し、研究開発の技術者として勤務。84年、株式会社キミカに入社し、技術課長、管理部長、常務、専務を歴任。01年から現職に就く。

もともと製薬会社に就職し、研究開発の業務に携わっていた笠原文善さんが現在の会社に入社したのは、創業社長であった父親の死去がきっかけだった。笠原さんが理科大を志望したのも、この父親の進言によるものだ。

「高校時代は、理科や数学は大の苦手。大学も、当然文系に進もうと考えていました。しかし父が、文系の知識とは異なり、理系の知識は大学で学ばなければ、絶対に身に付かない。だから、せっかく大学に進むならぜひ理系を学ぶべきだと、かなり強く進言してくれたんです。父がそこまで言うならと、理科大の受験を決心したんです」

笠原さんの大学生活は、波瀾万丈だった。ウェイトリフティング部に入るも、腰を痛め選手活動を断念。その後は体育局局长として学内で活躍し、4年時には外部卒業研究生として東京大学の研究

室へ。そして、そこから早稲田大学大学院へと進んだ。

「3つの学校で学びましたが、どの学校の学生も、持っているポテンシャルは変わらないです。ただ、理科大の学生は、将来に対する視野をもっと広げるべきだということは、当時から感じていました。理科大生は、研究者や技術者、教育者を指す人が多い。でも、せっかく社会に羽ばたくのだから、いろんな世界に向けて、自分の可能性を幅広く持っていてほしい。後輩の皆さんに期待しています」

不得意だった理系に進んだがゆえの経験が、今の糧になっていると、笠原さんは実感している。「そもそも物理や化学が不得手だから、レポートを書き、単位を取るためには、人より必死に勉強するしかなかったんです。でも、そこでもがき苦しんだ経験が、今の仕事で自分なりの問題解決を

する時に生きています。答えが見えていなくても決して匙を投げない。必死に取り組んでいれば、いつか何かが見えてくる。その感覚が、大学時代に身に付いたんでしょうね」

笠原さんが社長を務める株式会社キミカは、食品、繊維、農業、化粧品など、幅広い分野で活用される食物繊維・アルギン酸の専門メーカーだ。現在、国内業界シェア80%以上を誇るが、笠原さんはその視線の先に新たな夢を抱いている。

「そうした医薬分野へのアルギン酸の活用をもっともっと増やしていきたいです。実際、来年から私の古巣である持田製薬さんと、軟骨の再生を促進するためにアルギン酸を活用する臨床試験が始まる予定なんです。少しでも人の役に立てるよう、アルギン酸の可能性を広げることが、私の役目だと思います」

総合研究機構 黒田玲子教授が 男女共同参画 社会づくり功労者 内閣総理大臣表彰

6月27日、総合研究機構の黒田玲子教授が平成26年度男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰を受けました。この表彰は、長年にわたり男女共同参画社会の推進に多大な貢献のあった者を顕彰するもの。黒田教授は、平成20年から平成23年の3年間、日本人女性としては初めて国際科学会議 (ISCU) の副会長を務め、平成25年3月には、科学の分野で著しい業績を挙げた世界の優れた女性科学者を表彰する「ロレアル・ユネスコ女性科学賞」を受賞するなど、社会的に活躍しており、ロールモデルとして男女共同参画の促進に尽力しています。また、内閣府男女共同参画推進連携会議議員として、男女共同参画社会づくりの推進に取り組んでいます。



総合研究機構 黒田玲子教授

東京大学大学院理学系研究科化学専門課程博士課程修了。ロンドン大学客員助教授、英国王立がん研究所研究員、東京大学教授を経て、現職。東京大学名誉教授。ロレアル・ユネスコ女性科学賞など受賞多数。日本学術会議会員、男女共同参画推進会議議員、国連科学諮問委員会委員など、幅広く活動している。

東京理科大学ホームカミングデー 2014(校友祭)を開催します

科学への興味をそそるイベントやエンターテインメントが盛りだくさん。
参加費は無料ですので、皆さまお気軽にお越しください。

開催日時 / 10月26日(日) 10:00 ~ 17:00 会場 / 東京理科大学葛飾キャンパス 金町駅から徒歩約8分



Entertainment

スペシャルステージ



杉田二郎

代表曲は「戦争を知らない子供たち」フオーク全盛から40年以上のキャリアを誇り幅広く活躍中。

会場 / 図書館大ホール
実施時間 / 13:30 ~ 15:00
大ホールではさまざまなジャンルの音が集う音楽祭を開催します。



庄野真代

代表曲「飛んでイスタンブール」が1978年に大ヒット。

様子ライブ

理科大卒の歌手。ジャンルを問わない音楽でたくさんの人たちに夢や希望を伝えている。

会場 / 図書館大ホール
出演時間 / 11:00 ~ 11:45



お笑い演芸会

桂歌助師匠の落語、春風亭美由紀の俗曲をお楽しみください。

会場 / 講義棟
出演時間 / 14:00 ~ 15:30



ふれあいライブステージ

現役学生、金町・神楽坂市民グループのライブ、葛飾総合高校のパレード、警察犬の妙技等をお楽しみください。

会場 / 屋外ステージ
出演時間 / 10:25 ~ 16:10



理声会コンサート

今年で3回目の参加となる理科大OB・OG混声合唱団の発表会。

会場 / 図書館大ホール
出演時間 / 10:15 ~ 10:45

Science

秋山仁講演会

数学と音楽を一緒に楽しめてしまう秋山先生らしい素敵な講演会

秋山仁
東京理科大学理数教育研究センター長

会場 / 図書館大ホール
実施時間 / 15:30 ~ 16:30



理科大研究紹介

最新の研究成果をパネル展示等で説明します。

会場 / 講義棟



サイエンス夢工房

それぞれのブースで実験・工作を通じて身近な科学を楽しめる体験型サイエンスイベント。

会場 / 講義棟



キッズサイエンス ライブショー

科学好きのキッズ集まれ。大人から子どもまで楽しめます。

会場 / 講義棟



その他のイベント

高校生を対象に募集した論文から最優秀賞を決める「第6回坊ちゃん科学賞」や中学・高等学校等で優れた授業を実践した数学科の教員を顕彰する式典「第7回数学授業の達人授賞式」のほか、素敵な景品が当たるお楽しみ抽選会や地域グルメ・理科大物産展など、食べて、飲んで、お祭りをみんなで楽しみましょう。他にもさまざまな面白いイベントが盛りだくさん。ぜひ、お気軽にお越しください。

イベント詳細はホームページへ
<http://www.risokai-hcd.jp/>

問い合わせ先 / 理声会事務局

tel: 03-3260-0725 E-mail: risokai@admin.tus.ac.jp

プログラムおよび実施内容は変更される場合がございます。

2014年理大祭 日程

- 〈葛飾〉…………… 11月23日(日) ~ 24日(月・休)
- 〈神楽坂〉…………… 11月23日(日) ~ 24日(月・休)
- 〈野田〉…………… 11月23日(日) ~ 24日(月・休)
- 〈久喜〉…………… 11月 8日(土) ~ 9日(日)

詳細は理科大HP、理大祭HPでご確認ください。

TUSフォーラム関西 2014 日本の理科大から、世界の理科大へ!

日時 / 11月9日(日) 13:00~17:30 (受付開始12:00)
場所 / ホテルモントレ グラミア大阪 (大阪市浪速区湊町1-2-3)
申し込み / 申し込みあり
入場無料・事前申込制(先着順)

講演会 /
●「電気を貯める革新技術~次世代バッテリーの開発~」理学部第一部 応用化学科 教授 駒場慎一
●「宇宙飛行から学んだこと」宇宙飛行士 向井千秋氏
●パネルディスカッション「日本の理科大から、世界の理科大へ」
(問い合わせ) 東京理科大学 校友・父母支援課 TEL: 03-5228-8327

次号予告

- 年頭の言葉
- 理大祭2014開催報告

発行所
東京都葛飾区新宿6-3-1
東京理科大学広報課
☎03-5876-1717
<http://www.tus.ac.jp/>